

# 三菱重工業株式会社

契約の種類：アニュアルレビュー

日付：2021年6月16日

担当者：

Wakako Mizuta, wakako.mizuta@sustainalytics.com, (+81) 3 4571 2343

Marie Toyama, marie.toyama@sustainalytics.com, (+81) 3 4571 2343

## はじめに

2020年11月、三菱重工業株式会社（以下、「三菱重工」）は再生可能エネルギー／クリーンエネルギー（風力発電設備／事業・水素発電設備／事業・地熱発電設備／事業）に対する新規支出及びリファイナンスを目的とするグリーンボンドを発行しました（以下、「グリーンボンド」）。2021年5月、三菱重工は、サステナリティクスにグリーンボンドを通して資金の充当を受けたプロジェクトが三菱重工業株式会社グリーンボンドフレームワーク（以下、「フレームワーク」）<sup>1</sup>で設定された資金使途のクライテリアやレポーティングの指標に合致しているかについて評価を委託しました。

## 評価基準

サステナリティクスは、以下の要件について、2021年3月31日時点で調達資金の充当を受けたプロジェクトを評価しました。

1. フレームワークで設定された調達資金の使途及び適格クライテリアとの適合
2. フレームワークで設定された主要業績評価指標（KPI）に関する報告

表1に調達資金の使途、適格クライテリア及び関連するKPIを示します。

表1：調達資金の使途、適格クライテリア及び関連するKPI

調達資金の使途	適格クライテリア	主要業績評価指標 (KPI)
再生可能エネルギー／クリーンエネルギー事業 (風力発電設備/事業・水素発電設備/事業・地熱発電設備/事業)	<p>当社グループが取り組む以下の基準を満たす再生可能エネルギー／クリーンエネルギー事業に対する新規支出及びリファイナンス（研究開発資金、事業開発・事業運営資金、運転資金等）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 水素発電の場合、100%水素発電に向けた事業・プロジェクトであること</li> <li>• 地熱発電の場合、CO<sub>2</sub>排出量が100g CO<sub>2</sub>/kWh以下であること</li> <li>• 法人への出資の場合、当該法人が再生可能エネルギー／クリーンエネルギー事業専業又は売上の90%以上を再生可能エネルギー／クリーンエネルギー関連で占めていること</li> <li>• 事業・プロジェクトへの支出が、関連するグリーンボンドの発行日から遡って7年以内 to 実施されたものであること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 対象事業に関連する再生可能エネルギー／クリーンエネルギー施設の年間発電量 (MWh)、年間CO<sub>2</sub>削減量 (トン)</li> <li>• 研究開発の進捗状況に関する情報 (参加プロジェクトの概要等)</li> </ul>

<sup>1</sup> 三菱重工業株式会社グリーンボンドフレームワークの概要: <https://www.sustainalytics.com/corporate-solutions/sustainable-finance-and-lending/published-projects/project/mitsubishi-heavy-industries-ltd/mitsubishi-heavy-industries-ltd-green-bond-second-party-opinion-japanese/mitsubishi-heavy-industries-ltd-green-bond-second-party-opinion-japanese-pdf>

## 発行体の責任

三菱重工は、プロジェクトの説明、充当額、プロジェクトによるインパクトを含め、調達資金の充当を受けたプロジェクトの詳細に関する正確な情報及び文書を提供する責任を負います。

## 独立性と品質管理

投資家に環境・社会・ガバナンス（ESG）とコーポレート・ガバナンスに関する調査・格付けを提供するプロバイダとして業界をけん引するサステナリティクスは、三菱重工のグリーンボンドによる調達資金の用途を検証しました。本契約の一環として、同社のフレームワークとの適合性の確認のため、三菱重工の従業員からの文書の収集及び確認を行いました。

サステナリティクスは、調査にあたって、対象プロジェクトに関して三菱重工から提示された情報と事実  
に依拠しています。三菱重工が不正確又は不完全なデータを提供したことにより、本文書で示した見解、調  
査結果、結論が正確性を欠く場合、サステナリティクスはいかなる責任も負いません。

サステナリティクスは、評価プロセスにおいて最高の品質と厳密さを確保するためにあらゆる努力をし、  
審査結果の評価にあたっては社内サステナビリティ・ボンド・レビュー委員会（Sustainability Bonds  
Review Committee）が監督を行いました。

## 結論

限定的保証プロセスに基づき検討した結果<sup>2</sup>、すべての重要な側面において、三菱重工のグリーンボンドに  
よる調達資金の充当を受けたプロジェクトが、フレームワークで規定された調達資金の用途及びレポーティ  
ングクライテリアに適合しないと判断すべき事実は認められませんでした。三菱重工は、サステナリティ  
クスに対し、グリーンボンドの調達資金が2020年11月24日に全額充当されたことを開示しました。

<sup>2</sup> サステナリティクスの限定保証プロセスには、発行体の提供する、調達資金の充当を受けているプロジェクトの詳細に関する文書（プロジェクト  
の説明、充当額、プロジェクトによるインパクトなど）の調査が含まれます。発行体には正確な情報を提供する責任があります。サステナリティク  
スはプロジェクトの現地調査は実施していません。

## 調査結果の詳細

表 2：調査結果の詳細

適格クライテリア	調査手順	調査結果	特定された過失または例外
資金使途クライテリア	2021年3月31日時点でグリーンボンドによる調達資金を充当されたプロジェクトを対象に、フレームワーク及び上の表1に示されている資金使途クライテリアとの適合性を検証。	審査したすべてのプロジェクトは資金使途クライテリアに適合していました。	該当なし
レポーティングクライテリア	2021年3月31日時点でグリーンボンドによる調達資金を充当されたプロジェクトを対象に、プロジェクトによるインパクトがフレームワーク及び上の表1に示されているKPIと適合する形で報告されたかを検証。報告されたKPIの一覧は参考資料2を参照。	審査したすべてのプロジェクトは関連するKPIについてレポーティングクライテリアに従って報告されていました。	該当なし

## 参考資料

### 参考資料 1：審査対象の調達資金の用途のカテゴリ一覧

調達資金の用途のカテゴリ	サブカテゴリ	プロジェクト数	要件	ルックバック期間	調達資金の充当額 (百万円)
再生可能エネルギー／クリーンエネルギー事業	洋上風力	1	洋上風力発電設備専門の法人 <sup>3</sup> への出資に対するリファイナンスであることを確認	グリーンボンドの発行日から遡って7年以内を実施された支出であることを確認	24,893

### 参考資料 2：プロジェクトのインパクト一覧

調達資金の用途のカテゴリ	サブカテゴリ	年度 <sup>4</sup>	年間発電量 (MWh) <sup>5</sup>	年間 CO2 削減量 (トン) <sup>5</sup>
再生可能エネルギー／クリーンエネルギー事業	洋上風力	2016	981,602	490,000
		2017	3,176,087	1,600,000
		2018	5,499,659	2,770,000
		2019	7,610,776	3,840,000
		2020	9,772,989	4,930,000

<sup>3</sup> MHI Vestas Offshore Wind A/S

<sup>4</sup> 各年度の対象期間は、4月1日から翌年3月31日まで

<sup>5</sup> 当該インパクトは、法人が2014年度に三菱重工より出資（調達資金の充当）を受け、洋上風力発電設備の開発・設計・製造を完了した後、稼働が想定される2016年度以降の理論値です。

## 免責事項

© Sustainalytics 2021 無断複写・複製・転載を禁ず

本書に包含又は反映されている情報、手法及び意見は、サステイナリティクス及び／又はその第三者供給者の所有物（以下、「第三者データ」）であり、サステイナリティクスが開示した形式及びフォーマットによる場合又は適切な引用及び表示が確保される場合のみ第三者へ提供されます。これらは、情報提供のみを目的として提供されており、（1）製品又はプロジェクトの保証となるものではなく、（2）投資助言、財務助言又は目論見書となるものではなく、（3）有価証券の売買、プロジェクトの選択又は何らかの種類の商取引の実施の提案又は表示と解釈してはならず、（4）発行体の財務業績、金融債務又は信用力の評価を表明するものではなく、（5）いかなる募集開示にも組み込まれておらず、組み込んではありません。

これらは、発行体から提供された情報に基づいたものですので、これらの商品性、完全性、正確性、最新性又は特定目的適合性は保証されていません。情報及びデータは、現状有姿にて提供されており、それらの作成及び公表日時時点のサステイナリティクスの意見を反映しています。サステイナリティクスは、法律に明示的に要求されている場合を除き、いかなる方法であっても、本書に含まれた情報、データ又は意見の使用に起因する損害について一切責任を負いません。第三者の名称又は第三者データへの言及は、かかる第三者に所有権があることを適切に表示するためのものであり、その後援又は推奨を意味するものではありません。当社の第三者データ提供者のリスト及びこれら各者の利用規約は、当社のウェブサイトに掲載されています。詳しくは、<http://www.sustainalytics.com/legal-disclaimers> をご参照ください。

発行体は、自らが確約した内容の確実な遵守とその証明、履行及び監視について全責任を負います。

本書は日本語で作成されました。日本語版と翻訳版との間に矛盾もしくは不一致が生じた場合は日本語版が優先されるものとします。

## サステイナリティクス（モーニングスター・カンパニー）

サステイナリティクスは、モーニングスター・カンパニーであり、環境・社会・ガバナンス（ESG）とコーポレート・ガバナンスに関する調査、評価及び分析を行う独立系機関であり、責任投資（RI）戦略の策定と実施について世界中の投資家をサポートしています。ESG 及びコーポレート・ガバナンスに関する情報及び評価を投資プロセスに組み込んでいる、数百に及ぶ世界の主要な資産運用会社や年金基金を支援しています。また、多国籍企業や金融機関、各国政府を含む世界の主要な発行体に、グリーンボンド、ソーシャルボンド、サステナビリティボンドのフレームワークに対する信頼性の高いセカンドパーティ・オピニオンを提供しています。2020 年には、Climate Bonds Initiative により、3 年連続で「気候ボンドのレビューにおける最大の認証機関」に選ばれたほか、Environmental Finance 誌により、2 年連続で「最大の外部レビュー機関」に認定されました。詳しくは、[www.sustainalytics.com](http://www.sustainalytics.com) をご参照ください。



Named  
2015: Best SRI or Green Bond Research or Rating Firm  
2017, 2018, 2019: Most Impressive Second Opinion Provider